

「和・輪・話」のまち につば

わたしたちが 目指すまち

絆のまち につば

高齢者が楽しく元気に活動できるまちにしよう
住んでいる人どうし、支え合うまちにしよう
一人ひとりが地域のことに関心を持つまちにしよう
子どもが大人になっても住み続けたいまちにしよう
お互いにあいさつをし、みんなで明るく安心できるまちにしよう

【地区の概況】

新羽地区は区の西側に位置しています。地区の中央を南北に市営地下鉄ブルーラインが通り、新羽駅と北新横浜駅の2駅を擁し、高速神奈川7号横浜北線の新横浜出入口も設置されており、交通の利便性が高いことから、住宅地だけでなく、工場や倉庫の立地も見られます。地区の西側には丘陵が広がり、公園、畑、山林、竹林が点在しています。共同住宅に住む人の割合が区内平均と比較して多い地区です。

【人口の特徴】

	世帯数	総人口	0～14歳	15～64歳	65歳以上
R6年9月	7,067世帯	13,328人	1,278人(9.6%)	9,438人(70.8%)	2,612人(19.6%)
H31年9月	6,575世帯	13,110人	1,553人(11.8%)	8,979人(68.5%)	2,578人(19.7%)

4期計画の振り返り

◆ 今までの取組

4期計画は3つの部会で下記のような具体的な取り組みを進めてまいりました。

- ① 健康づくり部会
グラウンドゴルフ、ポールウォーキング等による身体の健康づくり、大竹うたの会、菜園収穫体験での心と体の健康づくりを通じて地域の活性化を進めました。
- ② 情報発信部会
ICTの活用と理解のために隔月3部会で集まり勉強会等を開催しました。
Google Meetを使ったビデオ会議の体験等を行い、新たな会議形式を知る機会となりました。
新羽地区の情報が集まる場、発信する方法を検討しています。
- ③ 住民交流部会
写真撮影会や料理教室を開催して地域交流の場づくりを行いました。3部会合同で地域企業の協賛を得てクイズラリーを実施しました。緑道整備の場を子ども達の遊び場として「新田緑道みちあそび」を開催しました。

◆ 今後の方向性

今後の活動に向け、地域の声を知るためにインターネットや紙面でアンケートを実施しました。町内会、地域ケアプラザ等まちの協力を得て意見を集めることができました。

5期は広く地域の方に参加いただけるよう、アンケートの結果を踏まえ「レクリエーション」「防災」「情報発信」の3つの柱で取組を進めます。

5期計画の目標

- ・新羽の魅力を多くの住民に伝えます
- ・地域でできる見守り、支えあいの取り組みを進めます
- ・地域ぐるみで子どもを育み、子どもたちのふるさとづくりを進めます
- ・大地震や水害等に向け、「自助」「共助」「公助」の意識を地域の皆様と共に育みます
- ・気軽に行くことができる場や機会を増やし、自宅に閉じこもりがちな方の参加を呼びかけます
- ・高齢者や障害者などへの理解を深める活動を進めます
- ・参加できる場の情報が多くの方に届くようホームページ等の発信を続けます

具体的な取組

これまでの地域の活動

住民交流部会



みちあそび

情報発信部会



ふれあい写真撮影会

健康づくり部会



じゃがいも苗植え～収穫



大竹うたの会

これからの活動に向けて、アンケートを実施し、たくさんの地域の声が集まりました。
集まった声から、第5期ひっとプラン港北（令和8～12年度）の活動の3つの柱が決まりました。

これからの地域の活動

レクリエーション

防災

情報発信

第5期ひっとプラン港北の活動の3つの柱としてさまざまな取組・活動を計画していきます。

計画の振り返り方法

地域で活動するそれぞれの団体等で取組を進め、地区別計画推進委員会において進捗状況を確認し、振り返りと今後の方向性の検討を行います。

新羽地区のまちのイベントや情報

【新羽地区連合自治会】で検索

メールアドレスは rengou-info@nippacho.com



活動に関する問合せ

◆新羽地域ケアプラザ
TEL.045-542-7207 FAX.045-531-7011



「ひっとプラン港北」に関する問合せ

◆港北区役所福祉保健課事業企画担当
TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368
◆港北区社会福祉協議会
TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561